



霧島市立 舞鶴中学校

生徒数 746 人
学級数 26 クラス



テーマ

互いの人権を尊重し合える生徒の育成を目指して

研究に当たって(テーマ設定の理由)

本校の課題である不登校生増加の一因に人間関係のトラブルがある。お互いの人権を尊重し、一人一人を大切にする教育が推進できれば、不登校の増加を食い止めることができると考える。また、そのことは、いじめ問題の解消にもつながると考え、本テーマを設定した。

研究スケジュール

4月3日(金) 職員研修(研修の共通理解:職員対象)
4月13日(月) いじめ問題を考える週間(授業での取組)
5月11日(月) 職員研修(生徒理解:職員対象)
7月11日(土) 情報モラル教室(正しいSNS利用:生徒対象)
7月21日(火) 職員研修(人権同和教育の基礎知識:職員対象)
9月2日(水) いじめ問題を考える週間(道徳での取組)
11月20日(金) 心の教育講演会(SNS上の人権問題:生徒対象)
1月14日(木) 教育講演会(人権同和教育の基礎知識:保護者対象)
毎月:命の教育の日の設定、いじめアンケートの実施
定期:構成的エンカウターの実施
人権に関する強調週間・月間等の周知・啓発
「学校楽しい」と、教育相談の実施
全校朝会での講話、校内放送での人権啓発放送

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

- 構成的グループ・エンカウターの実施
仲間づくりと自己肯定感の向上を目的とし、定期的に全学級で構成的グループ・エンカウターを実施した。
- 命の教育の日の設定といじめアンケートの実施
毎月、命の教育の日を設定するとともに、いじめアンケートを実施することで命の大切さといじめ撲滅を訴えた。
- 人権・同和教育便り「ひまわり」の発行
毎月、人権・同和教育だより「ひまわり」を発行することで、人権意識の高揚に努めた。
- 人権標語の募集と人権コーナーの設置
全校生徒に人権標語を募集し、優秀作品を掲示するとともに人権に関する掲示コーナーを設置し、人権意識の高揚に努めた。
- HPでの積極的な発信
各種人権週間や人権啓発資料等をHPで積極的に発信した。特に新型コロナウイルス感染拡大に伴う様々な差別、偏見に対して、いち早く情報を発信することができた。
- 人権に関する強調週間・月間等の周知・啓発
人権に関する強調週間・月間等について、文書やHPで周知・啓発を図った。



【人権コーナー】



【人権同和教育便り】



【人権標語】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 様々な取組を通して、生徒・職員の人権に対する意識の高まりが見られた。特に、職員の意識が高まることで、生徒に対する指導の充実にもつながった。
- 構成的エンカウターを実施することで、学級のみとまりや生徒間の絆が深まり、学校行事の充実にもつながった。
- SNS上の人権問題について、更に充実した取組が必要である。
- 外部講師による講演会、特に、拉致被害者を講師にお招きし講演会を実施してみたい。
- 生徒会を中心とした人権問題に関する取組を充実させていきたい。